

第 5 次 地 域 管 理 經 営 計 画 書

第 5 次 国 有 林 野 施 業 実 施 計 画 書

(旭 川 森 林 計 画 区)

(第 二 次 変 更 計 画 書)

計 画 期 間 $\left[\begin{array}{l} \text{自 平 成 3 1 年 4 月 1 日} \\ \text{至 令 和 6 年 3 月 3 1 日} \end{array} \right]$
(変 更 年 月 令 和 4 年 3 月)

近 畿 中 国 森 林 管 理 局

目 次

〔地域管理経営計画書〕

1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項	1
(4) 主要事業の実施に関する事項	1

第5次地域管理経営計画書（旭川森林計画区）の変更について

国有林野管理経営規程第6条第9項に基づき、地域管理経営計画の一部を次のように変更します。

【変更事由】

主伐対象林分の見直しを行ったことから、伐採総量及び更新総量に関する計画を変更します。
林道の改良計画の見直しを行ったことから、関係項目を変更します。

【変更する内容】

1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

(4) 主要事業の実施に関する事項

イ 主要事業の総量

本計画期間において、機能類型区分に応じた施業管理を行うために必要な伐採、更新、保育、林道の事業総量は以下のとおりです。

(ア) 伐採総量

(単位：材積 m³、面積 ha)

区 分	主 伐	間 伐	計
山地災害防止タイプ	—	(20) 2,323	2,323
自然維持タイプ	—	(11) 1,270	1,270
森林空間利用タイプ	—	(244) 21,217	21,217
快適環境形成タイプ	—	—	—
水源涵 ^{かん} 養タイプ	<u>90,422</u>	(1,545) 149,224	<u>239,646</u>
計	<u>90,422</u>	(1,820) 174,034	[10,000] <u>264,456</u>

- 注：1 () は間伐面積です。
2 [] は外書で、搬出等に伴う支障木、松くい虫の被害木等の伐採箇所があらかじめ特定できない臨時的な伐採量です。
3 保護林周辺林分については、皆伐を行いません。
4 四捨五入により内訳と計が合わないことがあります。

(イ) 更新総量

(単位：ha)

区 分	人工造林	天然更新	計
山地災害防止タイプ	—	—	—
自然維持タイプ	—	—	—
森林空間利用タイプ	—	—	—
快適環境形成タイプ	—	—	—
水源涵養 ^{かん} タイプ	270	<u>5</u>	<u>275</u>
計	270	<u>5</u>	<u>275</u>

注：四捨五入により内訳と計が合わないことがあります。

(エ) 林道の開設及び改良の数量

(単位：m)

区 分	開 設		改 良	
	路線数	延長	箇所数	延長
山地災害防止タイプ	—	(140) 140	—	—
自然維持タイプ	—	—	—	—
森林空間利用タイプ	—	—	—	—
快適環境形成タイプ	—	—	—	—
水源涵養 ^{かん} タイプ	2	1,560	<u>4</u>	<u>168</u>
計	2	1,700	<u>4</u>	<u>168</u>

目 次

〔国有林野施業実施計画書〕

2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(4) 伐採総量	1
(5) 更新総量	2

第5次国有林野施業実施計画（旭川森林計画区）の変更について

国有林野管理経営規程第14条第2項に基づき、国有林野施業実施計画の一部を次のように変更します。

【変更事由】

主伐対象林分の見直しを行ったことから、伐採総量及び更新総量に関する計画を変更します。林道の改良計画の見直しを行ったことから、関係項目を変更します。

【変更する内容】

2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(4) 伐採総量

機能類型等別の伐採量は次のとおりです。（地域管理経営計画の1の(4)のイの(ア)）

なお、本表は、伐採造林計画簿で定める箇所ごとの伐採量を取りまとめたものです。

（単位：材積 m³、面積 ha）

区 分	林 地					林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	—	(19.84) 2,323	2,323				
自然維持タイプ	—	(10.91) 1,270	1,270				
森林空間利用タイプ	—	(243.58) 21,217	21,217				
快適環境形成タイプ	—	—	—				
水 源 かん 涵 養 タ イ プ	天 然 林	523	—	523			
	複 層 林	—	—	—			
	長 伐 期	3,920	71,114	75,034			
	分 散 伐 区	44,126	76,885	121,011			
	施業群設定外	41,853	1,225	43,078			
	小 計	90,422	(1,545.28) 149,224	239,646			
合 計	90,422	(1,819.61) 174,034	264,456	10,000	274,456	—	274,456
年 平 均	18,242	(363.92) 34,807	53,049	2,000	55,049	—	55,049

注：1 「間伐」欄の()は間伐面積です。

2 年平均は、従前の年平均に当該計画変更による伐採の増減量を残期間（年数）で除したものを加えて算出しています。

(再掲) 市町村別内訳

(単位：材積 m³、面積 ha)

区 分	林 地					林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小計	臨 時 伐採量	計		
岡 山 市	39,080	(217.03) 23,552	62,632				
真 庭 市	34,657	(1,130.89) 101,234	135,891				
新 庄 村	1,697	(146.97) 12,235	13,932				
久米南町	2,881	—	2,881				
吉備中央町	12,107	(324.72) 37,013	49,120				
合 計	90,422	(1,819.61) 174,034	264,456	10,000	274,456	—	274,456

注：1 市町村の内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含みません。

2 「間伐」欄の()は間伐面積です。

(5) 更新総量

機能類型等別の更新量は次のとおりです。(地域管理経営計画の1の(4)のイの(イ))

なお、本表は伐採造林計画簿で定める更新箇所ごとの更新量を取りまとめたものです。

(単位：ha)

区 分	人工造林			天然更新			合 計
	単層林造成	複層林造成	計	天然下種第2類	ぼう芽	計	
山地災害防止タイプ	—	—	—	—	—	—	—
自然維持タイプ	—	—	—	—	—	—	—
森林空間利用タイプ	—	—	—	—	—	—	—
快適環境形成タイプ	—	—	—	—	—	—	—
水源涵養 ^{かん} タイプ	269.84	—	269.84	5.00	—	5.00	274.84
合 計	269.84	—	269.84	5.00	—	5.00	274.84

3 林道の整備に関する事項

林道の開設の路線別の詳細は次のとおりです。(地域管理経営計画の1の(4)のイの(エ))

(単位：m)

基幹 管理別	開設 改良	路線名	箇所 (国有林・林班)	延長	機能類型	備考
管 理	開設	杉成林業専用道	杉 成 1038、1039	140	山地災害防止タイプ	
				860	水源涵養 ^{かん} タイプ	
		深谷林業専用道 1051林班線	深 谷 1051	700	水源涵養 ^{かん} タイプ	
計		2路線		1,700		
管 理	改良	第二大柵林道	加茂山 838	32	水源涵養 ^{かん} タイプ	
		奥山林道	土倉山 853	50	水源涵養 ^{かん} タイプ	
		一の茅林道	山 乗 1061	86	水源涵養 ^{かん} タイプ	
計		3路線 (4箇所)		168		

注：種類欄の基幹は森林基幹道を、管理は森林管理道を指します。